

時代を楽しむ音楽会 バロック編

ヨーロッパ貴族体験!

バロック時代ヘタムトリップ

前半プログラムでは、
ハンブルク・ハノーファー・ライプツイヒと
ドイツ各都市で活躍した
作曲家テレマン・ヘンデル・バッハの作品を中心に、
また楽器紹介として
それぞれの楽器の音色もお楽しみください。
後半プログラムでは、イタリア・ベネツィア出身の
作曲家マルチェッロとヴィヴァルディの
作品を華やかにお届けします。

2022年10月15日(土)

午後2時開演 (30分前開場)

会 場 岸和田市立自泉会館ホール

入場料 前売3,000円(当日500円増)

定 員 40名

チケット取り扱い 岸和田市立自泉会館事務所

【出演】日本古楽アカデミー.



リコーダー 村田 佳生



ヴァイオリン 中山 裕一



ヴァイオリン 大谷 史子



チェロ 上田 康雄



チェンバロ 三島 郁

【問い合わせ先：岸和田文化事業協会】

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10

岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp



登録有形文化財
自泉会館



【プログラム】

・G.F.ヘンデル:2つのヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ ニ長調 HWV397

・バロック楽器のお話

・G.Ph.テレマン:「音楽の練習帳」(Essercizii musici)より リコーダーとヴァイオリンのためのトリオソナタ イ短調 TWV 42:a4

・B.マルチェッロ:リコーダーと通奏低音のためのソナタ ニ長調 作品2第12番

・A.ヴィヴァルディ:2つのヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ「フォリア」ニ短調 RV63

※演奏曲目は変更になる場合があります。

主催 岸和田市・岸和田文化事業協会

時代を楽しむ音楽会 バロック編
ヨーロッパ貴族体験!
バロック時代へタイムトリップ

2022年10月15日(土)

午後2時開演(30分前開場)

岸和田市立自泉会館 ホール

【日本古楽アカデミー・プロフィール】

2016年3月大阪で開催された、バロックヴァイオリンの名匠サイモン・スタンディジ氏との共演を機に、氏の薫陶を受けた中山裕一を中心に発足したオリジナル楽曲を使用するバロック音楽団体。名誉顧問にサイモン・スタンディジ氏を迎え古楽奏法と解釈に基づいた演奏を親しみやすくより多くの方に楽しんでいただき、地域文化に貢献することを目標として関西を拠点に活動を開始。G.Ph.テレマンの作品、J.S.バッハの協奏曲やカンタータ、A. ヴィヴァルディの協奏曲を取り上げた定期演奏会をはじめ、海外からのアーティスト招聘公演、講談や落語とのコラボレーション企画、未就学児も聴けるコンサートと活動の幅を広げている。2021年ファーストCD「TELEMANN COLLECTION」リリース。令和3年度文化庁「ARTS for the future!」に採用され全国各地で公演実施。



村田 佳生
YOSHIO MURATA
(リコーダー)

大阪音楽大学楽理専攻、アムステルダム音楽院リコーダー科卒業。リコーダーを彌永壽子、北山隆、花岡和生、サスキア・コーレン、ジャネット・ファン・ヴィンガーデン各氏に師事。現在は関西を拠点に、自身のリサイタルシリーズの他、室内楽やリコーダー協奏曲のソリストとして活躍。リコーダーカルテット「まるかる」「スーパーリコーダーカルテット」メンバー。大阪音楽大学非常勤講師。CDに『ジェームズ・ペイジブル ソナタと組曲集』『ジャン・バティスト・レイエ・ドゥ・ガン リコーダーソナタ選集』(レコード芸術誌準推薦)など。



中山 裕一
YUICHI NAKAYAMA
(ヴァイオリン)

元テレマン室内管弦楽団、コレギウム・ムジクム・テレマンコンサートマスター。在任中バッハ・アルヒーフ主催公演に招聘されソリスト兼コンサートマスターとして参加。文化庁文化芸術による子どもの育成事業一巡回公演一ではテレマン室内オーケストラを指揮。現在、日本古楽アカデミー、主宰、相愛大学音楽学部古楽器科非常勤講師。青少年の為のオーケストラや、アマチュア弦楽アンサンブルの指揮、指導をつとめる。ヴァイオリンを釈伸司氏、小栗まち絵氏に、バロックヴァイオリンを上野博孝氏、サイモン・スタンディジ氏に師事する。相愛大学音楽学部卒業。大阪文化祭奨励賞受賞。2021年10月日本古楽アカデミー、1stアルバム「TELEMANN-COLLECTION」リリース。



大谷 史子
FUMIKO OHTANI
(ヴァイオリン)

京都市立芸術大学を卒業後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。在欧中はカペラ・アカデミカ・ウィーンやル・モンド・クラシコなどの古楽グループの演奏活動やCD録音に参加。帰国後は日本テレマン協会に所属し、定期公演でのソリストやモーツァルトのピアノ協奏曲シリーズ等のオリジナル楽器を用いた演奏会でコンサートミストレスを務めている。2度のリサイタルを開催して好評を博したほか、様々なアンサンブルとも共演している。同協会退団後は日本古楽アカデミーの一員として活動中。バロック・ヴァイオリンをエドワード・メルクス、サイモン・スタンディジの各氏に師事する。



上田 康雄
YASUO UEDA
(チェロ)

京都市立芸術大学作曲家専攻。在学中にチェロを始める。故黒沼俊夫、岩淵龍太郎、平井丈一郎の各氏に師事。京都市交響楽団に13年在籍。90年オランダ・デンハーグ王立音楽院及びアムステルダム古楽アカデミー留学。サーティフィケートを取得。東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンで活躍。バロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音奏者として参加。古楽アンサンブル「ザ・ガット・クラブ・バンド」主宰。バロックチェロを鈴木秀美、J.T.リンデン、ヴィオラ・ダ・ガンバを平尾雅子の各氏に師事。室内楽をW.クイケン氏に師事。2017年3月まで京都フィルハーモニー室内合奏団在籍。現在、立命館大学交響楽団弦楽部トレーナー、におの浜弦楽アンサンブル指揮者。



三島 郁
KAORU MISHIMA
(チェンバロ)

東京学芸大学大学院修士課程修了後、ケルン大学に留学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学専攻、博士課程修了。博士(文学)。専門は西洋バロック期から19世紀までの鍵盤楽器音楽の作曲・演奏論、記譜論。チェンバロ、通奏低音を亀谷喜久子、岩渕恵美子、C. チェラジの各氏に師事。国内外でバロック期の音楽やチェンバロに関するレクチャーやコンサートを企画・開催。現在、京都市立芸術大学、大阪音楽大学、同志社女子大学、大阪教育大学、甲南女子大学、神戸山手女子高等学校、各非常勤講師。

新型コロナウイルス
感染拡大予防に
ご協力ください!

